

開発者向け概要：
Windows® Internet Explorer® 8
*Beta 1 for Developers*の紹介



Web 作業の操作性を向上

2008 年 3 月

詳細の問い合わせ先 (報道関係者専用):
Rapid Response Team
Waggener Edstrom Worldwide
(503) 443-7070
rrt@waggeneredstrom.com

このドキュメントに記載されている情報は、このドキュメントの発行時点におけるマイクロソフトの見解を反映したものです。マイクロソフトは市場の変化に対応する必要があるため、このドキュメントの内容に関する責任をマイクロソフトは問われないものとします。また、発行日以降に発表される情報の正確性を保証できません。

このドキュメントに記載された内容は情報の提供のみを目的としています。明示、黙示または法律の規定にかかわらず、これらの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。

お客様ご自身の責任において、適用されるすべての著作権関連法規に従ったご使用を願います。このドキュメントのいかなる部分も、米国 Microsoft Corporation の書面による許諾を受けることなく、その目的を問わず、どのような形態であっても、複製または譲渡することは禁じられています。ここでいう形態とは、複写や記録など、電子的な、または物理的なすべての手段を含みます。ただしこれは、著作権法上のお客様の権利を制限するものではありません。

マイクロソフトは、このドキュメントに記載されている内容に関し、特許、特許申請、商標、著作権、またはその他の無体財産権を有する場合があります。別途マイクロソフトのライセンス契約上に明示の規定のない限り、このドキュメントはこれらの特許、商標、著作権、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

別途記載されていない場合、このソフトウェアおよび関連するドキュメントで使用している会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のものです。実在する商品名、団体名、個人名などとは一切関係ありません。

© 2008 Microsoft Corp. All rights reserved.

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、ActiveX、Active Directory、Internet Explorer、Internet Explorer のロゴ、MSN のロゴは、米国 Microsoft Corp. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

記載されている会社名、製品名には、各社の商標のものもあります。

はじめに

この資料は、開発者向け Windows® Internet Explorer® 8 の概要を説明するものです。この広く普及した Web ブラウザの最新版は、セキュリティやプライバシーの保護、使いやすさ、プラットフォームの改善といった面で大きく進展しており、Web 開発者、アプリケーション開発者の双方にとって恩恵があります。この資料を読めば、新バージョンにどのような魅力的な機能が搭載されているかを知っていただけるでしょう。

Windows Internet Explorer 8 Beta 1 for Developers は現在、<http://www.microsoft.com/windows/ie/ie8/welcome/en/default.html> で配布しています。Web 開発者、Web 設計者/制作者は全員、Internet Explorer 8 Beta 1 for Developers にアップグレードして、テスト作業を進めるようお願いいたします。Microsoft ダウンロード センターから必要なソフトウェアを入手後、ただちにアップグレードできます。

Windows Internet Explorer 8 Beta 1 for Developers には、スタンドアロン版と拡張版の 2 種類があります。前者は Windows® XP Service Pack 2、Windows XP Professional x64 Edition、Windows Server® 2003 で動作します。後者は Windows Vista® で動作し、その先進性を生かす構成になっています。最終リリース (2008 年初頭) では Windows Vista Service Pack 1 にも対応する予定です。

この資料では、スタンドアロン版 (Windows XP および Windows Server) Internet Explorer 8 Beta 1 for Developers の機能を中心に紹介します。いずれも、Windows Vista 用の拡張版に組み込まれている機能です。拡張版でのみ利用可能な機能についてはその旨を注記します。

Microsoft は、さまざまな新機能、セキュリティ改善、プラットフォーム拡張が組み込まれた Internet Explorer 8 を、自信を持って提供いたします。実際に Internet Explorer 8 を使ってみれば、必ず賛同していただけるでしょう。今すぐお試しください。

Internet Explorer 8 について

Internet Explorer 8 Beta 1 for Developers の開発に当たり、Microsoft は多くのユーザーの意見を参考にし、さまざまな改善を施しました。自宅で利用する一般消費者から、IT 専門家や開発者まで、オンライン作業を劇的に改善する新機能が間違いなく見つかるでしょう。

Internet Explorer 8: 開発方針

Internet Explorer 8 Beta 1 for Developers では、Web 開発者/設計者の生産性を改善するため、標準規格に準拠し、相互運用性を高めることに注力しました。新たな描画エンジンを一から開発するために膨大な投資をし、CSS 2.1 への完全対応、HTML 5 の実装の着手、より相互運用性に優れた DOM (Document Object Model) の実装を成しとげました。その結果 Internet Explorer 8 では、特に設定を変えない限り、最新の標準モード描画エンジンで Web ページを描画するようになります。

相互運用性 (W3C その他の標準への準拠) と後方互換性 (Internet Explorer 6、Internet Explorer 7 の動作に合わせて作られたページに不具合が生じないようにすること) とのバランスは、常に困難な課題でした。一方には、旧ブラウザの描画エンジンに合わせて設計された、文字通り数十億にも及ぶ Web ページがあります。現在では積極的に管理されていないサイトも、この中には多数あります。その一方で、広く受け入れられた標準に準拠し、相互運用性を高めることに各ベンダが力を入れるならば、Web 設計者にとってさまざまな恩恵があるでしょう。この 2 つの立場を深く考慮した結果、新しい Web 標準への対応を最優先で考えることにしました。

Developer Tools が統合された Internet Explorer 8 は、Web 制作者にとって強力な武器になるでしょう。いくつかのツールを使い分けなくてもよくなるからです。高い生産性、機能、予見性、処理性能は、今後最も普及するであろう Web ブラウザの証左であるといっても過言ではありません。

既存のサイトが Internet Explorer 8 でも正常に表示されるようにする手順

Web サイトの閲覧は、PC の用途として上位に位置する作業です。より複雑になると同時に、事業に欠かせない地位を占めるに到った Web ページは、単に 1 ページずつ表示して見せるだけでは個人ユーザーも業務ユーザーも満足させることができなくなってきました。多くのサイトから必要な情報を効率よく検索する手段も求められています。また、Web アプリケーションは、データ駆動型で動的に Web ページを生成する、より複雑なものになってきました。マッシュアップ (いくつかの技術や情報を組み合わせて提供されるサービス) や AJAX アプリケーションが主流を占め、情報リソースとしての重要性を増しています。日々いくつもの情報ソースを処理する能力が求められるようになってきたのは、人気のあるニュース サイトを検索する、イントラネット サイトを利用する、財務管理をする、調査を行う、買い物する、電子メールを送信する、ブログに書き込むなど、さまざまな用途に利用するためです。

最初の節では、Internet Explorer のアーキテクチャや、共通の動作の変更について説明します。この変更に対応し、新しい IE 向けに Web サイトを設計する際には、旧 IE でアクセスしても問題が生じないよう、特に注意を払う必要があります。

既存のサイトを Internet Explorer 8 に適合させる手順

Web ブラウザには実に多くの機能が集約されています。地球上のあちこちのシステムに分散している多数のデータ ソースに接続し、ユーザーが快適にアクセスできるようにしながら、同時にセキュリティにも配慮して、不正なデータ アクセスや異常な動作が起こらないようにしなければなりません。この 2 つの絶妙なバランスをとることが、Microsoft の顧客にとって最優先課題です。Web ブラウザは、双方向ネットワーク通信基盤を前提とし、いつでもどこからでも利用できるという「ユビキタス性」を持つソフトウェアですが、この性質が諸刃の剣ともなりえます。コンピュータ基盤に不可欠の要素技術であると同時に、悪意ある攻撃者にとっては恰好の攻撃対象でもあるのです。

ブラウザにはいくつかの実装がありますが、その動作が共通である (予見できる) ことが、開発者の生産性を上げるためには重要です。Internet Explorer 8 Beta 1 for Developers で画期的な点は、CSS 2.1 標準に準拠し、さらに Acid2 にも合格していることです。シンジケート化 (動的に外部情報源から供給される) コンテンツの機能には、顧客との永続的通信ストリームを保持する仕組みが追加されました。さらに、標準モードでの描画がデフォルトになったこともあって、開発者にとって悩みの種であった事項 (標準規格の解釈の違いなど) が解消され、どのような動作になるか予見できるようになりました。Internet Explorer にはほかにも数多くの革新的な AJAX 機能、DOM 機能が組み込まれ、Web クライアントをより強力なものにしています。

この節では、Internet Explorer 8 Beta 1 for Developers の新機能と主な使用例を説明します。コード例も載っているので、実際に試してみることができます。